



国際的な循環型社会形成と適切な輸出入管理に向けて

平成20年5月8日
日本国 環境省
大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長
由田 秀人



内 容

1. 循環型社会形成に向けた日本の経験
2. 国際的な循環型社会の構築と適正な輸出入管理
3. 日中における廃棄物輸出入管理に関する取組



1. 循環型社会形成に向けた日本の経験

廃棄物をめぐる我が国の以前の状況

- 現場では「臭いものに蓋をする」その場しのぎの対応
- 「安かろう悪かろう」の処理現場は、悪貨が良貨を駆逐する状態

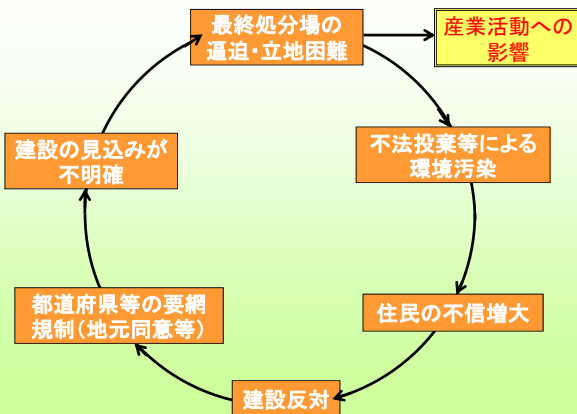
結果として
大規模な不法投棄
PCBなど負の遺産の蓄積

【野焼きによる不適正な廃棄物処理】 【大規模な廃棄物の不法投棄】 【PCB廃棄物の不適正な保管】



(出典：環境省資料)

産業廃棄物処理をめぐる悪循環



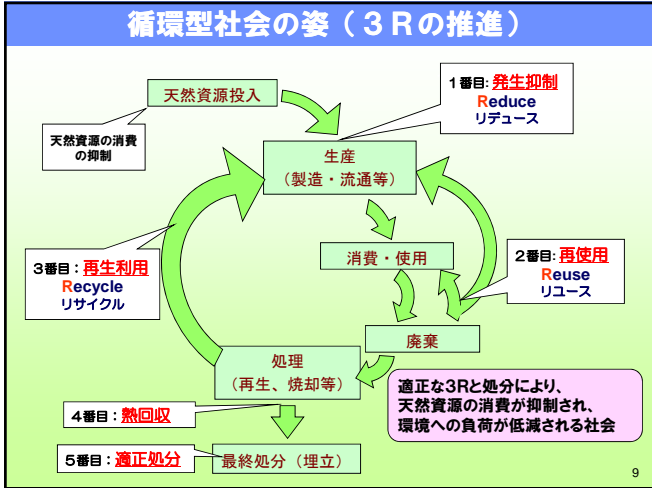
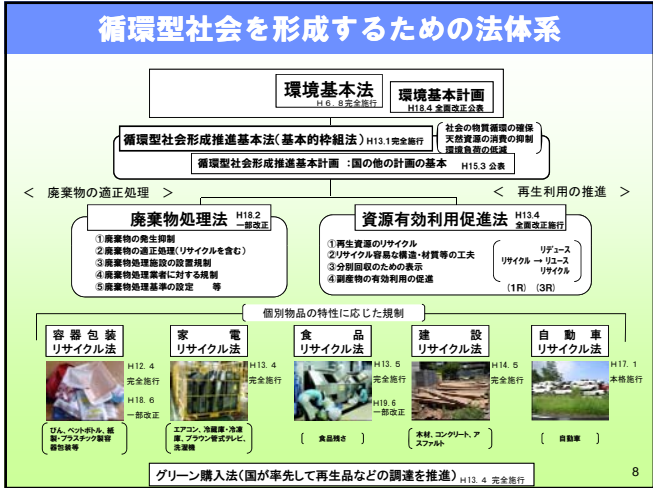
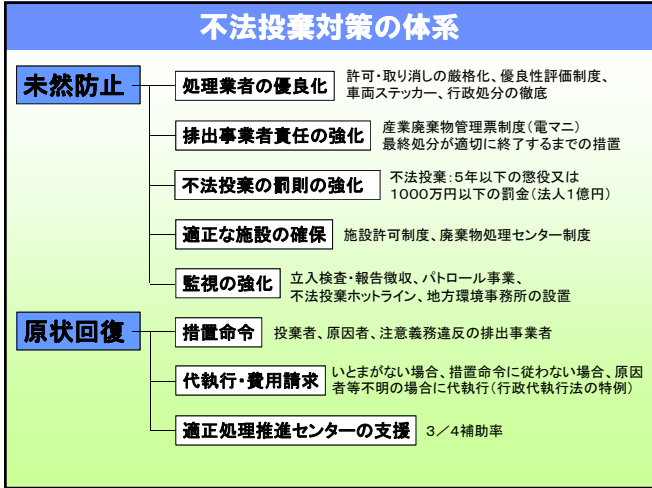
廃棄物・リサイクルに関する十数年来の改革

廃棄物・リサイクル対策の大転換

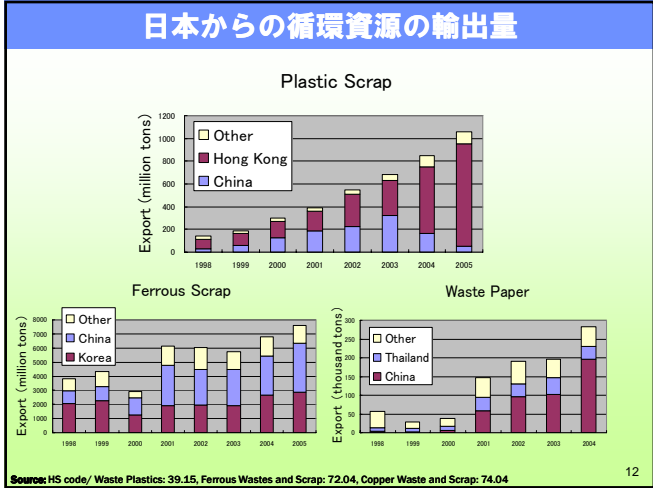
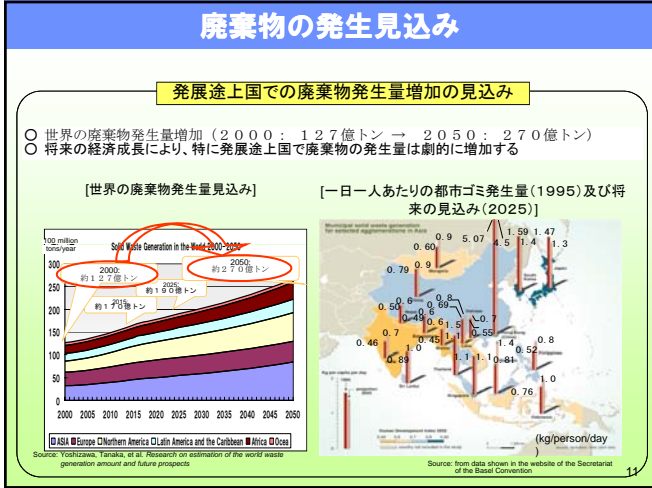
- ◆ 廃棄物処理法の改正による排出事業者責任の強化
- ◆ 各種リサイクル法の制定と拡大生産者責任の導入
- ◆ 循環型社会形成推進基本法に基づく法体系の確立
- ◆ PCBなど負の遺産の処理／ダイオキシンの大幅削減

各主体による取組の進展

- 国と地方公共団体の協働・連携
- 民間企業の取組
- NGOやNPOの参画



2. 国際的な循環型社会の構築と適正な輸出入管理



3 R イニシアティブ

★2004年6月、アメリカで開催されたG8サミットにおいて、廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用（「3R」）を通じて循環型社会の構築を目指す「3Rイニシアティブ」を合意
 ★2005年4月 3Rイニシアティブ閣僚会合
 ★2006年3月 3Rイニシアティブ高級事務レベル会合

3Rイニシアティブの目的は...

- 1 各国での3Rの推進
- 2 国際的な流通に対する障壁の低減
- 3 関係者間の協力
- 4 「3R」に適した科学技術の推進
- 5 途上国との協力


2006年3月 高級事務レベル会合

- 各国・国際機関における3Rの取組や優良事例の報告
- 各国における3Rの推進、国際的な3Rの推進に関する議論

2006年10月 アジア3R推進会議(東京)
 2007年10月 高級事務レベル会合(ドイツ・ボン)
 2008年3月 アジア3R対話(東京)
 2008年5月 G8環境大臣会合(神戸)
 2008年7月 G8サミット(北海道・洞爺湖)

日中間の環境・廃棄物分野における協力

- ・2006年 JICAによる専門家の派遣
- ・2007年3月 第1回日中環境・廃棄物・リサイクル政策対話(北京)
- ・2008年3月 第2回日中環境・廃棄物・リサイクル政策対話(東京)
- ・2008年5月 日中両国の当面の取組に関する共同プレス発表(東京)
 - エコタウン協力の推進




14


国際的な循環型社会のビジョン

前提：それぞれの国において循環型社会を実現
 ・我が国において、モデルとなる取組を推進
 ・途上国の取組を支援

国内循環



国際循環




(出典) 中央環境審議会資料

それぞれの循環資源の性質（有害性や資源価値）に即して、その国際的な移動に対応

- 有害物の管理も含め、東アジア地域全体の環境負荷を低減
- 先進国では、優れた技術を活用して、他国ではリサイクルできない循環資源の有効活用
- 途上国では、労働集約的なリサイクルについては、低コストでリサイクル

15





3. 日中における廃棄物輸出入管理に関する取組

16

日中廃棄物輸出入管理の課題

- プラスチックくず(2004)
 - 日本から中国向けに輸出されたプラスチックくずの中に、再生利用に適さない物が混入し中国国内法規制に違反するとして、中国政府が日本からのプラスチックくずの輸入を暫定的に停止する事案が発生
- ブラウン管TV、CRTモニター(2006)
 - 日本から中古使用目的で香港へ輸出された使用済ブラウン管TV等が、香港政府によってバーゼル条約上の有害廃棄物と判断され、日本へシッピングバックされる事案が発生

17

日中廃棄物輸出入管理の情報交換

- ・2007年3月 アジア有害廃棄物不法越境移動防止地域ワークショップ(北京)
- ・2007年8月 日中廃棄物の輸出入及び検査に関するセミナー(上海)
- ・2008年1月 日中廃棄物輸出入に関する関係省庁ワーキンググループ(東京)





18

アジア地域における廃棄物輸出入管理の情報交換

- 有害廃棄物の不法輸出入防止のため、各国のバーゼル条約実施能力の向上及び関係国間の情報交換体制(ネットワーク)を整備
- ワークショップ開催(2004～)、ウェブサイトによる各国の規制情報の提供、不法輸出情報等の情報交換を実施
- ワークショップの開催
 - 2004年11月 東京
 - 2005年11月 東京
 - 2007年3月 北京(再掲)
 - 2008年1月 東京



19



結 論

- 国内だけでなく世界的に循環型社会の構築が求められている。
- 国境を越えたりサイクルが進展しているが、国境での適切な管理が不可欠。
- 日本では、国内対策の充実を図っている。
- 中国とも情報交換や連携を強化し、不適正輸出が生じないように努力して参りたい。

20